Ⅴ　保護者が管理・活用する個別の支援計画の開発　～神奈川県三浦半島（横須賀地区）学習会の取組

１．はじめに

一年目（平成15年度）の研究成果から明らかになった，以下の三つの仮説に基づいて実践をはじめた。

⑴本人や保護者が，自分自身の「個別の支援計画」を作成する過程（プロセス）を重視して，作成する書式や，関係者間や保護者同士の協議に「前向きな発想」や「地域の広がり」などを仕組むことで，支援計画の本来の目的（自らの豊かな生活＜Q.O.L.＞の実現）に向かうことを目指す。

⑵当初から本人や保護者が自らの情報を管理し，必要に応じて調整しながら情報を提供する習慣は，これからの障害者施策（自立支援法等）で求められるであろう，自らの情報を管理すること（自己管理能力）に結びつく可能性がある。

⑶上記のために専門家の仕事は，本人や保護者が円滑に「個別の支援計画」を作成，活用することができるように支援することが第一の目的であり，求められた情報をニーズに応じて分かりやすく提供し，必要に応じて「前向きな発想」や「地域の広がり」につながるような仕組みを作ることであると考える。

２．方法

仮説の検証に向けて，本研究所で著者の教育相談を受けていた保護者の方を中心にした「保護者のための学習会」を組織し，「個別の支援計画」の作成に関する研究を行った。

⑴参加者及び開催数

会の名前：神奈川県三浦半島（横須賀地区）学習会
参加総数：５２名（途中の参加，辞退者含む）
開催数：全１８回（小グループによる開催含む）
参加延べ数：４２８名（平均参加者数　約２４名）

⑵本会の進め方（概要）

<u>第一期　仲間作り</u>

自己紹介用紙を作って，参加している保護者自身についての紹介をした。

従来は，子どものことを中心に紹介するが，第二期のワークショップに備えて，保護者としての立場ではなく，話し合いを進める自分自身の人生設計（夢）を中心に自己紹介してもらった。

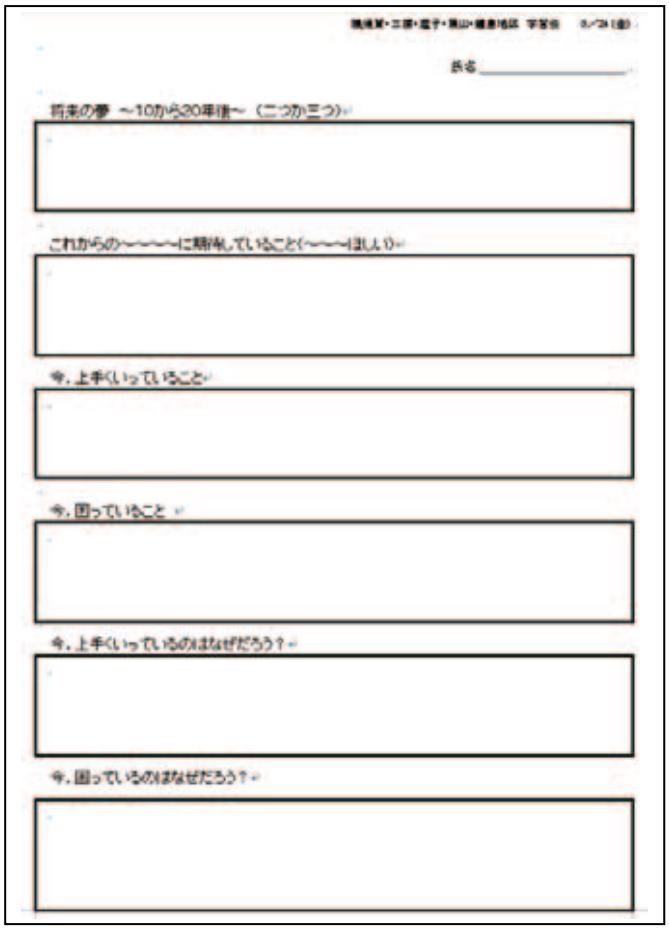
例）将来の夢は？

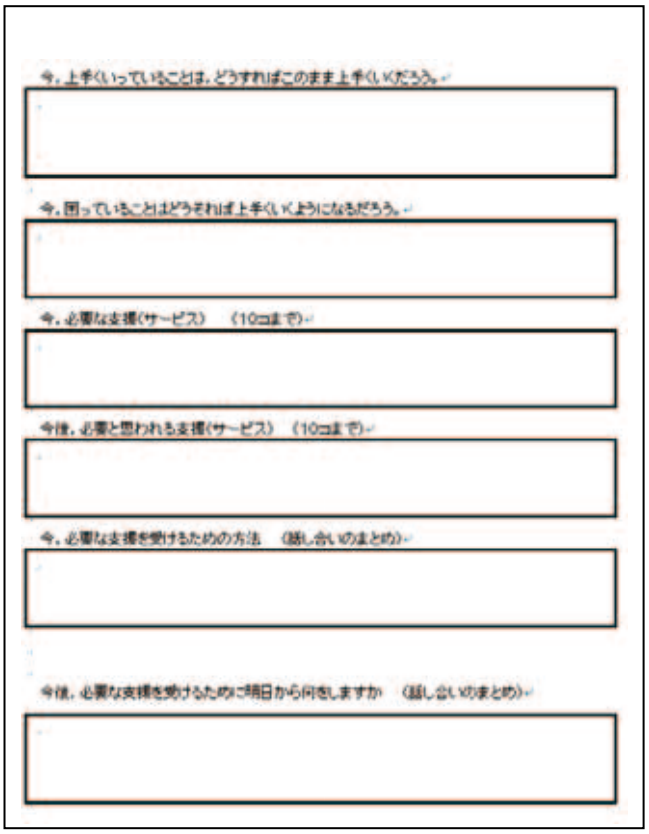
・（自閉症のある）子どもと一緒に世界一周の旅をする。
　（この紹介では，意外にも子どもと一緒に旅することが夢だという人が多かった）
・ハワイに一人で行って，エステに行くこと。

<u>第二期　ワークショップ</u>

一年目（平成15年度）の研究成果から作成した「前向きな発想」や「地域の広がり」などの仕掛けを取り入れた以下のような形式を提案した。さらに，ワークショップ方式（保護者同士，小グループを作って，ホワイトボードなどを利用しながら話し合う）で，保護者同士がメンターの立場に立てるような仕組みを用いた。（図１，２のような書式で将来の夢からはじめ，上手くいっていること，徐々

に困っていることに続いていく）





（図１，２　将来の夢～明日から何をしますか）

また，「本人と保護者のための個別の支援計画＜ＳＴＡＲＴ＞」を作成するにあたり，参加した保護者が「保護者としての私の仕事」と題して，以下のように保護者として支援計画を作成する際の手引きを作成し，第三期の支援計画作成に備えた。

（図３　ワークショップの様子）

支援の輪を広げるための「保護者としての私の仕事」

１　目的　～差別とか区別とか・・～

内容を，特性の理解をしてもらうことと，支援をどのようにしてもらえるかの二つの側面を提案して初めて支援して頂ける道が拓ける。

２　対象　～一歩踏み出してくれる人と踏み出す気のない人～

支援をしようという気持ちのある人と，そうでない人がいる。どうせなら支援してくれる人に絞って，活動を進めていくことが大切ではないだろうか。

３　方法　～間接的な提案と直接的な提案～

前向きな気持ちになる書式を提案することで，メッセージならないか（間接的な提案）。また，講演会を企画したり，休日等のイベントをしたりして支援者と話す機会を作ることで，メッセージにならないか（直接的な提案）。

４　選択と集中

支援してもらうために本当に必要なことを，さらに優先順位をつけて取り組んでいく必要がある。

近所の人→地域の人→市町村の人→県の人→国の人・・・（場所）

表出性のコミュニケーション→こだわり→問題行動→多動・・・（特性の理解）

５　支援の輪を広げるための流れ

仲間づくり→集いの場の創出→支援費等の活用方法→地域の開拓→障害の理解→教材教具の開発

（図４　支援の輪を広げるための「保護者としての私の仕事」）

第三期　「本人と保護者のための個別の支援計画」の作成

上記のように第一期，第二期の取組を終えた後，「本人と保護者のための個別の支援計画＜ＳＴＡＲＴ＞」に取り組んだ。

３．「本人と保護者のための個別の支援計画＜ＳＴＡＲＴ＞」

①　めざせ！社会，精一杯にＨＩＫＡＲＩ輝く人生を送ろう！ここが「ＳＴＡＲＴ」だ！

②　プロフィール

③　将来，近い将来，今（現在）

④　わたしを支援してくれる人

⑤　支援施設・機関一覧